

キャラクター名  
白峯 光姫 (しらみね こうき)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	不良高校生	カヴァー	UGNチルドレン
	ハヌマーン					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	憤怒	衝動	闘争	初期侵食率	33	%
出自	姉妹	経験	大成功	邂逅	自身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2	1	1			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転 :バイク。	2		芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
白峯 静狩(しらみねしすが)(姉)	P 尊敬	N 嫉妬		
【音使い (ソニックマスター)】	P	N		
敷島あやめ	P 幸福感	N 隔意		
内藤 守	P 尊敬	N 嫉妬		
夕影 有間	P 感服	N 嫌気		
九条 雪	P 同情	N 偏愛		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	Xジャー					
効果:	CL-LV							
獅子奮迅	2	4	Xジャー	武器	選択(範囲)	対決		
効果:	このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃を範囲<選択>に変更する。1シナリオにLV回まで使用できる。							
援護の風	2	2	オート	視界	単体			
効果:	1ラウンドに1回のみ。ダイス+n個							
ウィンドブレス	2	2	オート	視界	単体			
効果:	<援護の風>使用前に使用。達成値+Lv*3							
マシラの如く	2	5	Xジャー		単体			
効果:	制限80↑ 1シナリオに1回のみ。攻撃力を+「LV×10」する。また組み合わせたエフェクトはダイス「-5」される。							
エアロドライブ	2	2	マイナー		自身	自動		
効果:	素手をデータ変更。攻撃力【LV+5】・HPを【-5】する。							
一閃	1	2	Xジャー	武器		対決		
効果:	全力移動を行った後に白兵攻撃を行う。							
浸透撃	1	2	Xジャー	武器	単体	対決		
効果:	対象はガードを行えない。このエフェクトは1シナリオにLv回まで使用できる。							
疾風迅雷	1	3	Xジャー			対決		
効果:	このエフェクトを組み合わせた攻撃対象はドッジを行えない。このエフェクトは1シナリオにLv回まで使用できる。							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「うちのヒーローは姉ちゃんやったんや」

幼い頃、憧れていたのは快活な姉だった。  
「光姫、ついてき！」  
そう言いながら、幼い自分の手を握り、いろんなところへと連れて行ってくれた。  
姉は強く、遅く、カッコよく、幼くどんくさい自分を守ってくれた。  
キラキラ輝く姉はまさに光姫にとっては「ヒーロー」だった。  
そんな二人が一緒に憧れたのは【内藤 守】というプロボクサー。  
強く真っ直ぐな彼の姿は姉にとっても「ヒーロー」で、姉の口癖は「うちも将来、内藤選手みたいになるねん！」だった。  
将来は女子プロボクサーかな、と笑い合っていた——あの日までは。  
姉は喧嘩が強かった。その強さを【弱きものを助けるため】に使い続けてきた。それは男相手でも関係なかった。  
自分の正義が許さないのなら、困ってる人がいるのなら、弱い人が泣いているのなら、彼女は手をさし伸ばし続けた。  
その代償が——まわってきたのだ。

一度、姉に負けたごろつき達が、光姫を人質にして姉を呼び出し——リンチしたのだ。  
目の前で傷つく姉を何も出来ずにただ見ている事しか出来ない。  
そんな自分に光姫は【怒り】をおぼえた。

“嗚呼、弱いから何も出来ないんだ”  
“弱いから、わたしが弱いから——姉ちゃんを助けられない”  
“どうして、わたしはこんなにも【弱い】んだ!!”